

薬剤管理サマリーは心不全の再入院予防に有用か

1. 研究の対象

2021年4月1日～2021年9月30日まで入院したDPC病名に心不全がある、かつ、2021年9月30日までに退院された方

2. 研究目的・方法

近年、高齢心不全患者が激増しています。高齢心不全患者の年間死亡率は10年間で改善したが、増悪による年間入院率は変化していません。再入院予防のため、薬剤管理サマリーによる他医療機関への情報共有がされています。心不全患者の再入院の有無に着目し、薬剤管理サマリーが発行された患者および発行されなかった患者で差があるのか調査することを目的としています。

電子カルテから情報を収集し、病名、再入院の有無、患者の年齢、性別、心臓エコー検査結果から分かる左室の駆出率（LVEF）、再入院までの期間を調査します。薬剤管理サマリー発行の有無によって群分けを行い、2群間について再入院への影響を比較し検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病名、再入院の有無、年齢、性別、LVEF、再入院までの期間、薬剤管理サマリー

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 薬剤部

研究責任者：

京都中部総合医療センター 病棟業務係長 春名 康裕

-----以上